

(別紙)

成果の説明書

(氏名) 中村 彰良	(学部) 経済学部
<p>1 重要事項</p> <p>研究</p> <p>前年度の成果として高崎経済大学論集第58巻第4号に掲載された「予算管理の問題点とその対策」において、東芝の不適切な会計処理の問題を取り上げ、主に予算達成のために不正をしてしまう問題という観点から検討したが、その後、東芝の問題は、新たなそして重大な問題が明らかになり、今日に至っている。この東芝の問題については、新聞報道や雑誌記事などから、どのような事態が進行しているのかを把握するように努めた。この問題については、あらためて企業風土の問題が大きな影響を与えていると確信するに至った。こういった問題を扱う場合には、管理会計の面からのみではなく、企業風土や企業倫理などの面から問題を見ていくことが非常に重要であるとの認識を新たにした。</p> <p>これとは別に、原価計算・工業簿記のテキストの分担執筆を依頼され、費目別原価計算の部分について執筆した。このテキストは、2017年の夏ごろに刊行されることが予定されている。</p> <p>教育</p> <p>簿記論については、中間試験を例年通り実施した。本年度は、質問への対応が例年より多かった。</p> <p>管理会計論については、授業中に行う問題演習を少し増やした。質問への対応は例年通りであった。</p> <p>夏休みの終わりに3年のゼミ生のゼミ合宿を行った。合宿ではチームに分かれてビジネスゲームを行った。</p> <p>4年のゼミ生の提出したゼミ論文に目を通すのにも時間を費やした。</p>	
<p>2 その他の事項</p> <p>学生賞罰委員会委員として委員会に参加した。 高崎経済大学経済学会監事として、監査を行った。</p>	
<p>3 次年度以降の計画・抱負</p> <p>研究面では、企業倫理など今まで十分に検討していなかった部分について検討していきたい。</p> <p>教育面では、簿記の検定試験の内容が一部変わるようなので、どのように変わるかフォローして、教育に結び付けたい。</p>	